



あなたと私の

# 人 生 学

第3回 10:00~12:00  
玉島市民交流センター 第2会議室

## 第1回 6/18(土) 「戦争のない平和な生活を維持するために」

「原爆と戦争展」を成功させる岡山の会 会員 秋田 眞達 氏



★あきた まさと★

1942年、父親の住む広島県呉市へ移住。終戦間近の学徒動員で、呉市の空襲や広島への原爆投下を目撃した。1956年から数学教師として笠岡市・浅口郡の中学校に奉職。2016年から「原爆と戦争展を成功させる岡山の会」の活動に参加している。

平和であることは、当たり前ではない…

「1945年8月6日8時15分、地響きとともに、山の向こうにバラ色に輝く光と大きなきこの雲が見えました…」  
13歳という人生でもっとも多感な時期の戦争体験は秋田氏の活動の原点になりました。  
戦争のない平和な社会を維持するために私たちは何ができるのでしょうか。しなければならないことはどんなことでしょうか。戦争体験者の生の声を聴いて一緒に考えてみませんか。

## 第2回 7/16(土) 「瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決へ向けての中高生の挑戦」

山陽学園中学校・高等学校 地歴部 顧問 井上 貴司 氏 & 地歴部員の皆さん



★さんようがくえん ちれきぶ★

2008年から海底ごみや海岸漂着ごみの回収活動や啓発活動に取り組んでいる。問題を多面的な視点で捉えアプローチする取組は、多方面で注目を集めている。その活動は高く評価され、「ジャパンSDGsアワード特別賞」等、多くの賞を受賞している。

1人の100歩ではなく、100人の1歩が大きな力に…

「海洋ごみが生き物に深刻な影響を与えている…」海洋ごみ問題の深刻さについては、たびたびマスコミでも取り上げられています。しかも、その多くはプラスチックなどの生活ごみなのです。私たちがこの問題を「自分事」として考えない限り、根本的な解決をすることはできません。海洋ごみの発生抑制のために、私たちはどんな取組をすればいいでしょうか。地歴部の皆さんと一緒に学びましょう。

## 第3回 9/17(土) 「誰一人も置き去りにしない教育を求めて」～岡山自主夜間中学校から見てきたもの～

一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会 理事長 城之内 庸仁 氏



★しろのうち のぶひと★

公立中学校で勤務する傍ら、2017年4月に岡山交流センターを教室にして「岡山自主夜間中学校」を立ち上げた。2018年12月からは一般社団法人として活動している。西日本豪雨で被災した子どもたちの学習支援など幅広く活動をしている。

学ぶことは生きること!

「学びたい方すべてに教育の機会を確保し、共に学び、成長していく場をつくりたい」という理念を掲げ、県下初の自主夜間中学校はスタートしました。同校の生徒は10代から80代と幅広く、様々な事情をかかえた人々が通っています。今後、国や岡山県はどの方向に進もうとしているのでしょうか。私たちにできることはどんなことでしょうか。一緒に考えてみましょう。

## 第4回 10/15(土) 「近代日本における紡績会社の実相」

岡山民俗学会 会員 野田 和心 氏



★のだ かずみ★

中学校卒業後、半田紡績玉島工場に就職。結婚を機に退職するが、のちに倉敷化工に就職。定年後、県立操山高校に入学、さらに就実大学へ進んで、歴史学・民俗学の学びを深めた。大学卒業後は、以前から興味をもっていた「高瀬舟」「山城」「燈籠」などをテーマに調査や研究を進めている。

「女工哀史」に書かれなかった真実とは…

「女工哀史」や「あゝ野麦峠」は、どうしても女子労働者(女工)の過酷な労働条件や悲惨な寄宿生活などの記述が目立ちますが、はたしてそれだけだったのでしょうか。当時の紡績会社は、女子教育や労働者の福利厚生についてどのように考え、どのような取組が行われていたのでしょうか。教科書では紹介されない歴史について学びましょう。

定員 50名

問合せ:玉島公民館  
倉敷市玉島阿賀崎1-10-1  
☎086-526-7625

- マスク着用でご来館下さい。また、受付時に、検温や手指消毒にご協力ください。
- 次のいずれかに該当する方は受講をご遠慮ください。  
発熱(平熱+1度以上)、咳の症状など体調が悪い場合/新型コロナウイルス感染症を発症してから2週間経過していない場合/同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合/過去2週間以内に感染拡大している国・地域へ渡航した場合
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とする場合があります。
- 講演会開始2時間前の時点で「暴風警報」もしくは「特別警報」が発令している場合は中止とします。